



【農林水産部】

食品安全セミナー



食品安全セミナーの様子

基礎的な情報、農林水産省が行った調査結果に基づいた農場から食卓までの衛生対策リレーの重要性及び家庭で気を付けたいことについて説明しました。

本セミナーには、消費者、食品関連事業者及び行政担当者など21名の参加がありました。

参加者からは、「食品安全のために行政がいろいろなことに取り組んでいることがわかった」、「沖縄でよく食べられているヘチマでも食中毒になるということに驚いた」、「食中毒予防の3原則、『つけない』、『増やさない』、『やっつける』を日頃から心がけていきたいと思った」といった意見が寄せられました。

農林水産部消費・安全課

☎098-866-11672

3月8日、当局において、国における科学的根拠に基づいた食品の安全性向上の取組や食中毒を防ぐために家庭でできることを知っていただくための、「食品安全セミナー」を開催しました。

本セミナーでは、農林水産部消費・安全課の担当者から、「食品安全行政の取組」食品の安全と消費者の信頼確保について」と題し、農林水産省及び沖縄総合事務局農林水産部が行っている食品安全行政の取組、食品の安全確保及び消費者の信頼確保について説明しました。

また、「食中毒を防ぐためにできること」と題し、日頃行っている食中毒対策をより意識的に行っていたため、統計データをを用いた食中毒の発生状況などの



食品安全セミナーの様子

NO.6



【経済産業部】

はばたく商店街30選

デポアイランド通り会が受賞

「日常と非日常が交差する感性創発型の街を目指す」

はばたく商店街30選

中小企業庁では、地域の特性・ニーズを把握し創意工夫を凝らして商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街を『はばたく商店街30選』として全国公募から選定しました。沖縄からは、デポアイランド通り会（北谷町 通り会長・奥原悟）が選定されました。今回の受賞は、以下の取り組みなどが評価されたもので、「はばたく商店街30選」の前身である「がんばる商店街30選（2015）」に続く受賞となり、沖縄県内では初の2度目の受賞となりました。

力を得ながら地道に取り組んでいます。具体的には、まちが一体となる商空間創りや賑わいを創出するイベント開催、フリーWi-Fiなどの通信環境整備などに取り組み、多くの方がワクワクする賑わい空間を創出しています。

沖縄総合事務局では、今回全国で選定された30の商店街の取組事例の情報発信などを通じて、沖縄県内の商店街等を基盤とした地域経済の活性化や外国人観光客の消費喚起に取り組んでまいります。

（参照：http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/monozukuri300sha/index2018.htm）

外国人観光客数は年々増加

通り会では、参加型イベントに加えて新たにエンターテインメントイベントなどを継続して行い、外国人観光客を含め訪れた多くの人がSNSなどを利用して情報を発信を行うような取り組みをしています。その結果、国内外でデポアイランド通りの魅力や認知度が向上しています。このような外国人観光客をターゲットにした様々な取り組みが奏功し、デポアイランドを訪れる観光客は年々増加しています。

集合体の「まちの強さ」づくり

また、通り会ではデポアイランドのコンセプト「ワクワク感創り」に、地域住民、行政機関、商店街事業者など多くの方々との協



はばたく商店街30選 授賞式の様子



経済産業部長への授賞報告

NO.7

経済産業部商務通商課 流通・サービス産業係

☎098-866-11731